

キリトリ

郵便はがき

料金受取人払

3 5 0 - 1 3 9 0

狭山局承認

790

0 2 2

(受取人)

埼玉県狭山市柏原393

八千代工業株式会社

本社 事業管理室 IR担当者 行

差出有効期限
平成17年7月
31日まで

(切手不要)



フリガナ			
ご氏名			
ご住所	〒() (都・道・府・県)		
お電話番号	()		
性別	男・女	年齢	()歳
株式投資歴	a. 3年未満 c. 10年以上20年未満	b. 3年以上10年未満 d. 20年以上	
当社株式保有歴	a. 3ヶ月未満 c. 1年未満	b. 6ヶ月未満 d. 1年以上	

株式のご案内

決算期日 3月31日
 定時株主総会 6月
 基準日 利益配当金 3月31日
 中間配当金 9月30日
 公告掲載新聞 日本経済新聞
 貸借対照表及び損益計算書掲載のホームページアドレス
<http://www.yachiyo-ind.co.jp/kessan/index.html>
 名義書換代理人 東京都港区芝三丁目33番1号
 中央三井信託銀行株式会社
 同 事務取扱所 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 (〒168-0063)
 郵便物送付先 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
 電話照会先 電話 03 (3323) 7111 (代表)
 同 取次所 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店
 日本証券代行株式会社 本店・全国各支店

(お知らせ)

住所変更、単元未満株式(端株) 買取・買増請求、名義書換請求及び配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120-87-2031で24時間受付しております。

八千代工業株式会社

〒350-1335 埼玉県狭山市柏原393
電話 04 (2955) 1211 (代表)

ホームページアドレス
<http://www.yachiyo-ind.co.jp>



この報告書は再生紙を使用しており、かつ自然にやさしい大豆インキを使用しております。

第52期
事業報告書
(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

八千代工業株式会社
YACHIYO INDUSTRY CO.,LTD.



「国内外の生産体質改革」をさらに推進し、 総力をあげて業績向上に努めてまいります。

代表取締役社長 **大竹 茂**

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。さて、第52期(平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)の事業概況につきましてご報告申し上げます。

第52期の連結業績は、売上高2,762億円(前年度比11%増)、経常利益61億円(前年度比61%増)、当期純利益は33億円(前年度比91%増)となり、売上高、利益いずれも過去最高となりました。完成車事業においては、「ライフ」の受注台数が増加したことなどにより、売上高は前年度比9%増の1,355億円となりました。部品事業においては、国内では、樹脂製燃料タンク、サンルーフ、ボディ部品など部品全般が伸び、前年度比15%増の978億円となりました。海外では、北米での受注減はあったものの、タイ、ベトナムでの2輪部品の受注増及び前連結会計年度の9月

に稼働を開始した八千代工業(中山)有限公司(中国)における樹脂製燃料タンクの生産が当連結会計年度は全期間を通じて寄与したことなどにより、前年度比7%増の424億円となりました。これまで世界規模で推し進めてきた「競争力ある生産体質の構築」に、受注の増加が結びついた結果、経常利益、純利益ともに過去最高を計上できました。

今後の経済の見通しにつきましては、国内景気の回復は緩やかとなり、個人消費の大幅な伸びは期待しがたく、また、米国をはじめ、アジア諸国においては引き続き経済成長が予想されるものの、世界を取り巻くさまざまな情勢や原油価格の動向、為替の動向など不透明な部分も多く、国内外とも予断を許さない情勢にあります。当社グループを取り巻く自動車業界におきましても、コスト、

品質面での生き残りをかけた競争が激化し、一層厳しさを増すものと考えております。

このような厳しい環境に迅速かつ柔軟に対応していくために、国内外の生産拠点において生産体質改革をさらに進め、コスト競争力の向上及び品質の一層の向上に向け積極的に取り組んでまいります。さらに、競争力のある技術の確立、製品ラインアップの充実化及び管理体制の効率化を図り、総力をあげて業績の向上に努めるとともに、地球環境の保全にも取り組んでまいります。第53期の連結業績は、売上高2,770億円、経常利益65億円、当期純利益35億円を予想しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

CONTENTS

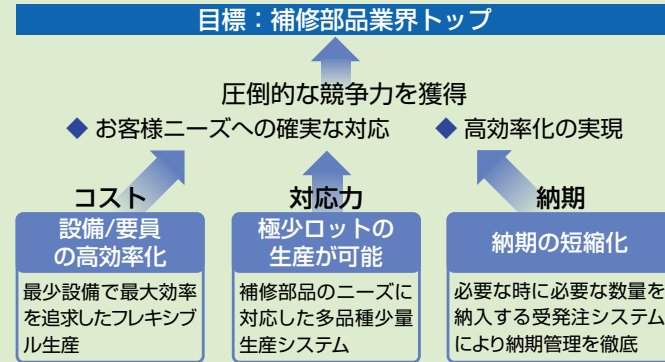
株主の皆様へ	1
FOCUS—YACHIYOの製品—その4	2
連結業績の概況	4
連結財務諸表	6
単独財務諸表	8
トピックス	10
Information	11
会社概要	12

高効率・高品質・即納を実現した補修部品

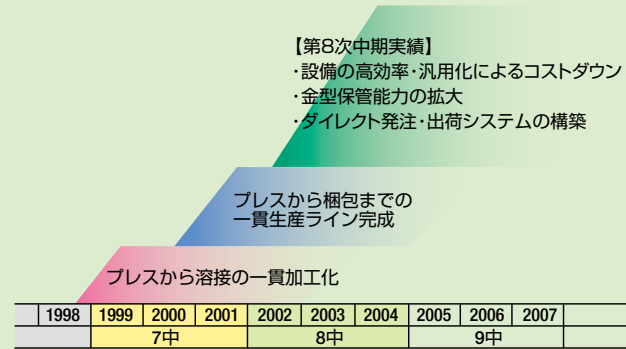
当社は、補修部品に特化した専用工場を亀山事業所に有し、ホンダの四輪全車種における主要な補修用ボディ部品を、プレスから溶接、塗装、梱包まで一貫生産しています。自動車は飛躍的な品質の向上と環境保全・省資源の観点から、その使用期間が延長傾向にあり、お客様に対する補修部品の供給責任はますます増大しています。このような環境のもと、

補修部品の生産においては、コストダウン、在庫圧縮、高い生産効率の実現が必要不可欠であり、事業への参入障壁は高いのが実情です。多品種少量生産に対応した当社の生産システムは、高効率・高品質・即納を実現し、お客様ニーズへの確実な対応を可能にしています。

目標



補修部品事業の沿革



第8次中期における当社の取組み

「設備の高効率・汎用化によるコストダウン」

ハンドリングロボットへの溶接作業の付加、簡易治具のフレキシブル性向上、超汎用投入シューターの考案等、完成車事業ノウハウを活用した設備の高効率・汎用化により、製品の内作化を可能にし、約1/3の費用削減を実現しています。

「金型保管能力の拡大」

亀山事業所では現在、1,500型以上の金型を保管できるストック場を設置しており、今後は現ストック場内での最大保管効率を追求していく計画です。



「ダイレクト発注・出荷システム」

当社では、補修部品をお客様にさらにタイムリーに効率良くお届けするため、ダイレクト発注・出荷システムを構築しました。これにより生産リードタイムを従来の30日から1日へ短縮することができ、今後は順次適用部品を拡大していきます。

今後の展望

海外では、使用期間の長い自動車の保有率が高く、補修部品市場・補修部品メーカーが成り立つ要素にもなっています。当社は、確立した高効率な補修部品生産システムを礎に、海外での事業展開も視野に入れていきます。

亀山事業所の生産体制

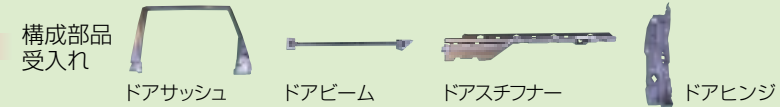
製品の種類：ドア、ボンネットフード、ルーフ、トランク、フロア等の補修用ボディ部品 生産能力：2,000パーツ/日

一貫生産の流れ(ドアの例)

〈工程〉

プレス工程

- ・1500種類の金型を保管できるストック場を確保し、金型地番管理システムによる管理体制を構築。部品名を選択することにより該当する金型を判別。
- ・1500tプレス1基のサイクル生産方式により多品種少量生産に対応。



溶接工程

- ・軽量コンパクトな専用簡易治具による省スペース性と高速交換。
- ・汎用性の高いポータブルガンによるハンド加工の採用。
- ・HEM溶接ラインによるドア及びフードの加工。



塗装/梱包工程

- ・工場排水のゼロ化、排熱のリサイクル活用により、環境に優しい塗装ラインを構築。

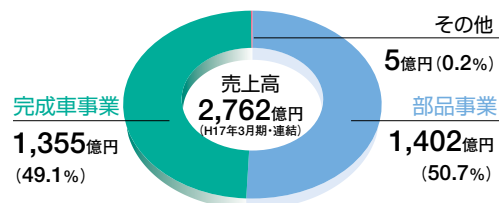


〈製品の姿〉



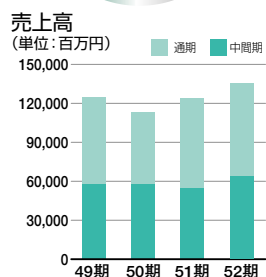
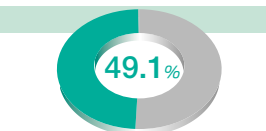
連結業績の概況

当社グループは、お客様のニーズに迅速かつ確応えるため、技術開発及び生産体制の強化など企業体質の強化に努めてまいりました。技術開発面では、挟み込み防止機能付きオート作動サンルーフの開発など引き続き積極的な研究開発活動を展開すると同時に、生産面では、部品事業と完成車事業との共創展開による生産体質改革を推進するとともに、アジア地域及び欧州を中心とした海外生産拠点の生産能力拡大を図ってまいりました。また、品質面では、「桁違い品質」を積極的に推進し、さらに管理体制の面でも広範囲にわたる業務の効率化を図ってまいりました。この結果、当連結会計年度の売上高は2,762億4千6百万円（前年度比10.6%増）となりました。利益につきましては、国内及びアジア地域などでの増収に伴う利益の増加や原価改善効果に加え、営業外損益の改善などもあり、北米地域における減収影響などがあつたものの、経常利益は61億3千1百万円（前年度比61.1%増）となりました。当期純利益は33億4千5百万円（前年度比91.5%増）となりました。



完成車事業

完成車事業では、「ライフ」の受注台数が増加したことなどにより、生産台数は21万9千台（前年度比12.5%増）、売上高は1,355億4千7百万円（前年度比8.8%増）となりました。

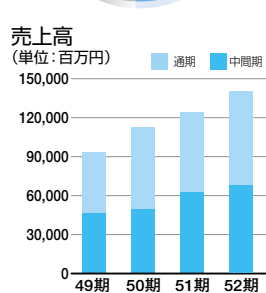
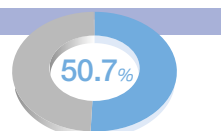


【生産台数内訳】

アクティ	ライフ
40%	60%

部品事業

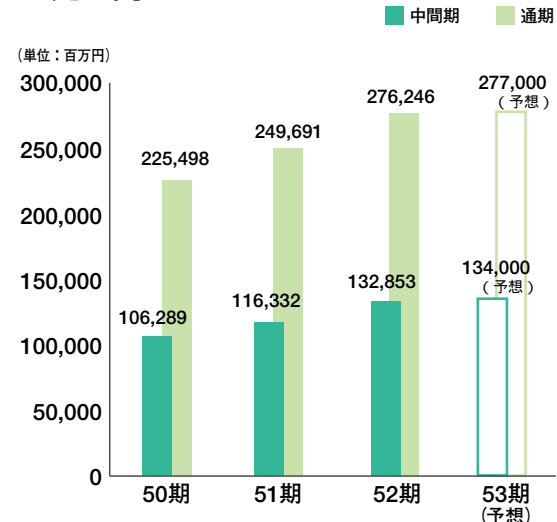
国内においては、樹脂製燃料タンク、サンルーフ、ボディ部品など部品全般が伸び、売上高は977億5千3百万円（前年度比14.9%増）となりました。北米においては、主として連結子会社であるヤチヨオブ オンタリオ マニュファクチュアリング インコーポレーテッド（カナダ）における受注減などにより、売上高は258億7千8百万円（前年度比2.2%減）となりました。その他の地域においては、連結子会社であるサイアム ゴウシ マニュファクチュアリング カンパニー リミテッド（タイ）及びゴウシ タンロン オートパーツ カンパニー リミテッド（ベトナム）の受注増並びに前連結会計年度の9月に稼働を開始した八千代工業（中山）有限公司（中国）の生産が当連結会計年度は全期間を通じて寄与したことなどにより、売上高は165億3千5百万円（前年度比26.6%増）となりました。この結果、部品事業の売上高合計は1,401億6千7百万円（前年度比12.5%増）となりました。



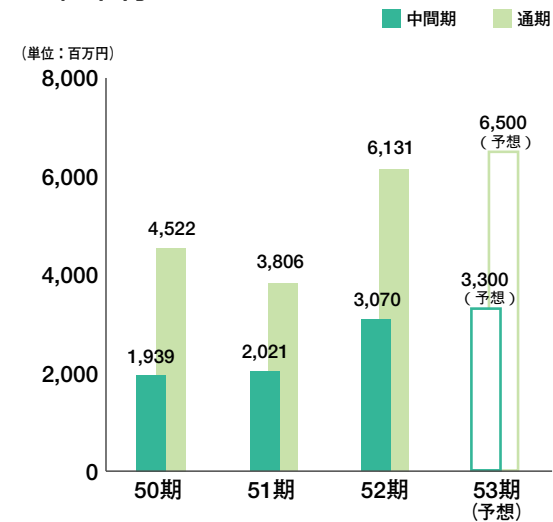
【製品別売上構成】

板金部品	燃料タンク	二輪	その他
41.9%	21.3%	18.6%	7.5%
サンルーフ 5.5% 補修部品 5.2%			

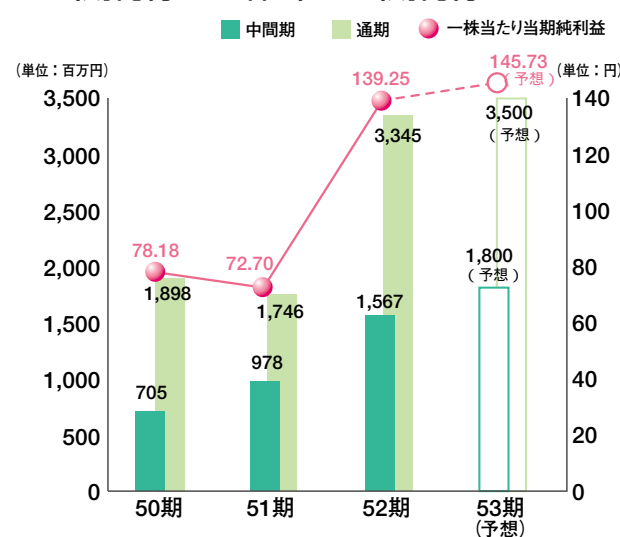
売上高



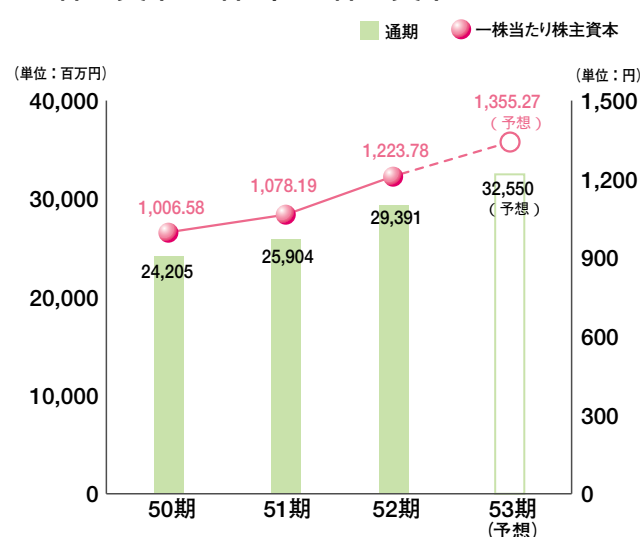
経常利益



当期純利益・1株当たり当期純利益



株主資本・1株当たり株主資本



※ 業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した予想であります。実際の業績は様々な要因の変化により、記載の業績予想とは大きく異なる結果となり得ますことをご承知おきください。

連結財務諸表

連結貸借対照表

科目	前連結会計年度 平成16年3月31日現在		当連結会計年度 平成17年3月31日現在	
【資産の部】				
流動資産				
現金及び預金	2,774,283	4,527,789		
受取手形及び売掛金	32,852,959	34,720,462		
たな卸資産	4,335,289	6,027,167		
その他	2,306,184	4,618,670		
流動資産合計	42,268,716	49,894,090		
固定資産				
有形固定資産				
建物及び構築物	31,423,290	32,271,436		
機械装置及び運搬具	62,708,507	64,129,627		
工具・器具及び備品	31,076,212	30,825,601		
土地	8,788,070	8,985,409		
建設仮勘定	2,757,532	2,315,030		
減価償却累計額	△ 84,127,332	△ 89,601,070		
有形固定資産合計	52,626,281	48,926,034		
無形固定資産	314,007	279,828		
投資その他の資産				
投資有価証券	5,995,723	6,555,283		
その他	3,750,973	1,842,085		
貸倒引当金	△ 96,800	△ 98,275		
投資その他の資産合計	9,649,896	8,299,093		
固定資産合計	62,590,185	57,504,956		
繰延資産	47	—		
資産合計	104,858,949	107,399,046		
科目				
【負債の部】				
流動負債				
支払手形及び買掛金	29,262,012	31,056,566		
短期借入金	3,021,098	2,954,720		
1年内返済予定長期借入金	7,330,524	10,765,811		
1年内償還予定社債	4,000,000	—		
未払金	4,989,419	5,209,012		
賞与引当金	2,113,618	2,199,620		
役員賞与引当金	19,000	30,601		
その他	2,762,914	2,864,028		
流動負債合計	53,498,588	55,080,360		
固定負債				
長期借入金	18,175,226	15,264,493		
退職給付引当金	3,154,672	3,428,719		
役員退職慰労引当金	315,566	322,708		
連結調整勘定	249,486	178,204		
その他	1,383,562	1,141,431		
固定負債合計	23,278,513	20,335,556		
負債合計	76,777,102	75,415,917		
【少数株主持分】				
少数株主持分	2,177,779	2,591,210		
【資本の部】				
資本金	3,685,600	3,685,600		
資本剰余金	3,504,075	3,504,079		
利益剰余金	18,559,068	21,591,852		
その他有価証券評価差額金	2,081,453	2,335,729		
為替換算調整勘定	△ 1,915,260	△ 1,706,167		
自己株式	△ 10,868	△ 19,176		
資本合計	25,904,067	29,391,918		
負債・少数株主持分及び資本合計	104,858,949	107,399,046		

連結損益計算書

科目	前連結会計年度 自：平成15年4月1日 至：平成16年3月31日		当連結会計年度 自：平成16年4月1日 至：平成17年3月31日	
売上高	249,691,927	276,246,965		
売上原価	237,969,087	262,664,512		
売上総利益	11,722,840	13,582,453		
販売費及び一般管理費	7,814,293	7,754,895		
営業利益	3,908,547	5,827,558		
営業外収益	922,214	990,167		
営業外費用	1,023,924	686,190		
経常利益	3,806,837	6,131,534		
特別利益	31,921	12,266		
特別損失	309,390	403,631		
税金等調整前当期純利益	3,529,368	5,740,169		
法人税・住民税及び事業税	2,098,743	1,807,346		
法人税等調整額	△ 819,162	△ 41,398		
少数株主利益	(減算) 502,990	(減算) 629,130		
当期純利益	1,746,796	3,345,090		

連結キャッシュ・フロー計算書

科目	前連結会計年度 自：平成15年4月1日 至：平成16年3月31日		当連結会計年度 自：平成16年4月1日 至：平成17年3月31日	
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前当期純利益	3,529,368	5,740,169		
減価償却費	9,213,437	8,543,995		
売上債権の増加額(△)又は減少額	△ 7,915,777	△ 1,949,100		
たな卸資産の増加額(△)又は減少額	△ 333,015	△ 1,282,087		
仕入債務の増加額又は減少額(△)	6,558,647	2,274,379		
法人税等の支払額	△ 1,586,544	△ 1,767,558		
その他	1,855,476	809,097		
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,321,592	12,368,896		
投資活動によるキャッシュ・フロー				
有形固定資産の取得による支出	△ 13,762,695	△ 6,119,265		
貸付金の純増額(△)又は純減額	△ 2,510,560	△ 277,662		
その他	△ 120,137	△ 22,844		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 16,393,392	△ 6,419,771		
財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の純増額又は純減額(△)	1,874	△ 47,218		
長期借入金の純増額又は純減額(△)	3,746,940	445,222		
社債の償還による支出	△ 1,000,000	△ 4,000,000		
その他	113,564	△ 562,737		
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,862,378	△ 4,164,733		
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 55,886	△ 28,722		
現金及び現金同等物の増加額又は減少額(△)	△ 2,265,308	1,755,668		
現金及び現金同等物の期首残高	4,754,648	2,634,917		
合併による現金及び現金同等物の増加額	145,577	—		
現金及び現金同等物の期末残高	2,634,917	4,390,586		

単独財務諸表

貸借対照表

(単位:千円)

科目	前期	当期	科目	前期	当期
	平成16年3月31日現在	平成17年3月31日現在		平成16年3月31日現在	平成17年3月31日現在
【資産の部】					
流動資産					
現金及び預金	1,309,033	1,296,983	支払手形	345,164	149,052
受取手形	196,136	93,934	買掛金	23,797,336	25,346,889
売掛金	28,717,914	29,497,264	短期借入金	1,500,000	1,500,000
たな卸資産	2,614,644	3,395,245	1年内返済予定長期借入金	4,922,740	8,394,310
その他	1,977,770	4,237,223	1年内償還予定社債	4,000,000	—
流動資産合計	34,815,498	38,520,651	未払金	4,413,367	4,564,617
固定資産					
有形固定資産					
建物	7,339,492	6,977,023	未払法人税等	630,652	637,248
機械及び装置	14,510,912	12,466,583	賞与引当金	1,778,179	1,871,845
工具・器具及び備品	3,080,684	2,620,552	役員賞与引当金	19,000	30,601
土地	7,065,841	7,065,841	未払消費税等	224,429	295,777
その他	1,650,500	1,831,795	設備支払手形	170,789	114,442
有形固定資産合計	33,647,430	30,961,795	その他	563,091	586,425
無形固定資産	110,949	89,663	流動負債合計	42,364,751	43,491,207
投資その他の資産			固定負債		
投資有価証券	13,416,106	14,128,141	長期借入金	15,458,520	12,262,480
その他	3,938,923	1,514,400	退職給付引当金	2,255,829	2,301,036
貸倒引当金	△ 79,550	△ 80,850	役員退職慰労引当金	208,251	204,989
投資その他の資産合計	17,275,480	15,561,691	その他	298,519	108,869
固定資産合計	51,033,859	46,613,150	固定負債合計	18,221,119	14,877,374
繰延資産	47	—	負債合計	60,585,870	58,368,582
【資本の部】					
資本					
資本金					
資本剰余金					
資本準備金					
その他資本剰余金					
資本剰余金合計					
利益剰余金					
利益準備金					
任意積立金					
当期末処分利益					
利益剰余金合計					
その他有価証券評価差額金					
自己株式					
資本合計					
負債・資本合計					
資産合計	85,849,406	85,133,802	負債・資本合計	85,849,406	85,133,802

損益計算書

(単位:千円)

科目	前期	当期
	自:平成15年4月1日 至:平成16年3月31日	自:平成16年4月1日 至:平成17年3月31日
売上高	203,352,926	226,790,534
売上原価	197,711,788	219,610,462
売上総利益	5,641,138	7,180,071
販売費及び一般管理費	4,439,037	4,443,345
営業利益	1,202,100	2,736,725
営業外収益	810,264	476,253
営業外費用	363,336	403,958
経常利益	1,649,028	2,809,020
特別利益	1,445	244
特別損失	212,292	342,513
税引前当期純利益	1,438,182	2,466,751
法人税・住民税及び事業税	1,201,421	1,006,099
法人税等調整額	△ 632,784	△ 107,364
当期純利益	869,545	1,568,017
前期繰越利益	369,098	327,039
中間配当額	144,159	168,153
合併による抱合株式消却損	129,863	—
当期末処分利益	964,620	1,726,903

利益処分

(単位:千円)

摘要	前期	当期
	自:平成15年4月1日 至:平成16年3月31日	自:平成16年4月1日 至:平成17年3月31日
当期末処分利益	964,620	1,726,903
圧縮記帳積立金取崩額	6,571	6,316
計	971,192	1,733,220
これを次のとおり処分いたします。		
配当金	144,153 (1株につき6円)	168,121 (1株につき7円)
別途積立金	500,000	1,200,000
次期繰越利益	327,039	365,099

(注)平成16年12月3日に、168,153千円(1株につき7円)の中間配当を実施いたしました。

単独業績の概況

当期の単独売上高は、完成車事業における「ライフ」の受注台数の増加及び部品事業における受注の増加による部品全般の伸びなどにより、2,267億9千万円(前期比11.5%増)となりました。利益につきましては、主として売上高の増加に伴う利益の増加及び原価改善効果などにより、経常利益は28億9百万円(前期比70.3%増)、当期純利益は15億6千8百万円(前期比80.3%増)となりました。

2004年12月 YZM 第2期拡張工事を開始

八千代工業(中山)有限公司(略称YZM、中国広東省中山市)では、第2期拡張工事が始まりました。この拡張工事では、中国国内における樹脂製燃料タンクの需要拡大に対応するため、2つ目の生産ラインを設置するとともに、新たにサンルーフの生産ラインを設置します。本年12月にはサンルーフの生産が可能となり、翌年10月には樹脂製燃料タンクの増産体制が整う計画で、お客様のニーズに迅速に対応できる生産体制が構築されるとともに、中国におけるYZMの重要性が一段と増すこととなります。



2005年2月 四日市製作所 完成車生産台数が累計300万台を突破



本年2月、四日市製作所における完成車の累計生産台数が300万台を突破しました。これを記念し、2月23日に本田技研工業株式会社の白石専務、佐々木鈴鹿製作所長をお招きし、記念式典を開催しました。四日市製作所は1985年の生産開始以降、1994年に生産累計100万台、2000年に同200万台を達成しています。従業員と関係者の方々の努力で成し遂げた生産体質改革にさらに磨きをかけ、今後も品質・コストに優れた魅力的な製品をお客様にお届けしてまいります。

2005年3月

サイアム ヤチヨ カンパニー リミテッド(略称SYC、タイ国プラチンブリ県)では、本年3月より樹脂製燃料タンクの量産を開始し、同月15日にはプラチンブリ県知事をお招きし、オープンセレモニーを開催しました。SYCの樹脂製燃料タンク工場の開設により、当社の全世界生産能力はトータルで195万台となり、今後SYCは、日本・北米・中国と並ぶ、アジア地域における樹脂製燃料タンクの重要な世界戦略拠点のひとつとなります。



株式の状況

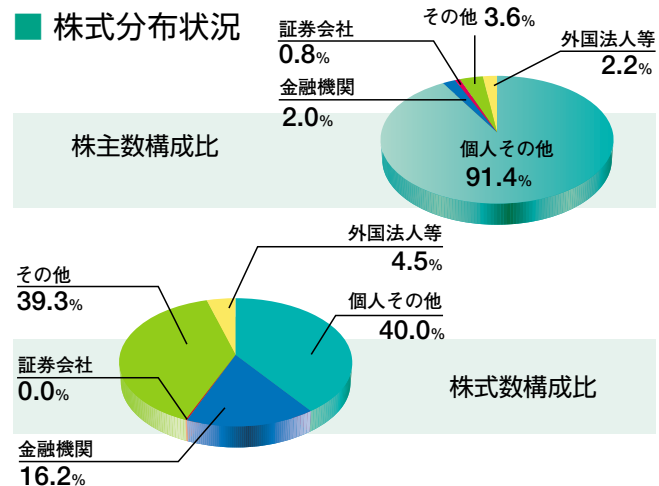
- 会社が発行する株式の総数 **70,000,000株**
- 発行済株式の総数 **24,042,700株**
- 株主数 **907名**

大株主

単位：持株数・千株／議決権比率・%

株主名	持株数	議決権比率
本田技研工業株式会社	8,294	34.6
大竹 榮 一	4,954	20.7
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	930	3.9
株式会社三井住友銀行	907	3.8
埼玉車体株式会社	838	3.5
八千代工業従業員持株会	711	3.0
大竹 好 子	709	3.0
株式会社東京三菱銀行	689	2.9
日本ラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	677	2.8
エイチエスピーシー ファンド サービスズ クライアント アカウント 006	307	1.3

株式分布状況



会社の概況

(平成17年3月31日現在)

- 社名 **八千代工業株式会社**
- 英文社名 **YACHIYO INDUSTRY CO., LTD.**
- 本社 **埼玉県狭山市柏原393番地**
電話 04 (2955) 1211 (代表)
- 設立年月日 **昭和28年8月27日**
- 資本金 **3,685,600,000円(平成17年3月31日現在)**
- 従業員数 **2,207名(平成17年3月31日現在)**

役員一覧 (平成17年6月24日現在)

代表取締役社長	大竹 茂	取締役	横井 晴彦
代表取締役副社長	森口 清一	取締役	西海 幸男
代表取締役専務	手塚 正人	取締役	坂田 英男
代表取締役専務	青山 利夫	取締役	山田 敏雄
常務取締役	清水 政和	取締役	桜井 貞雄
常務取締役	杉山 幸右	取締役	新谷 満
常務取締役	吉田 一郎	監査役(常勤)	千葉 光三
常務取締役	久保田 博	監査役(常勤)	戸村 正二
取締役	大竹 守	監査役	津田 真人
取締役	小松 泰典		

(注) 監査役は全員、「株式会社」の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

株価チャート



■ 事業の内容

当社は、完成車事業では本田技研工業(株)向け軽自動車の生産を、部品事業では自動車の機能部品の開発・製造と板金部品・樹脂部品の製造を行っています。

■ 主な関係会社

【子会社】

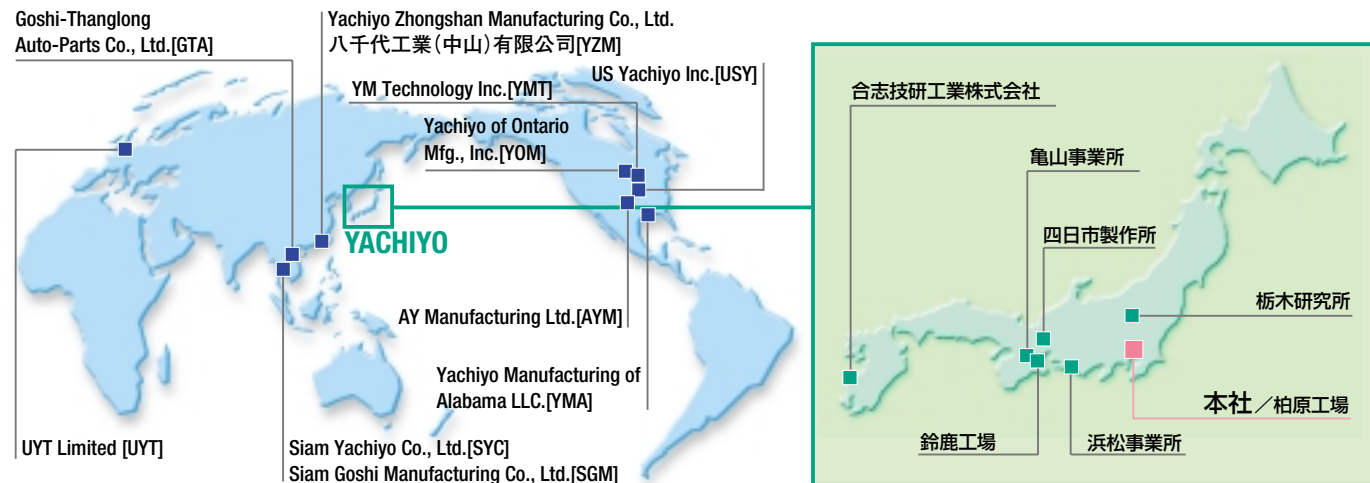
- 合志技研工業株式会社
自動車部品の製造及び販売
- ヤチヨ オブ オンタリオ マニュファクチュアリング
インコーポレーテッド (カナダ)
自動車部品の製造及び販売
- ワイ エム テクノロジー インコーポレーテッド (カナダ)
自動車部品等の金型、治具及び検具の製造及び販売
- ヤチヨ オブ アメリカ インコーポレーテッド (米国)
持株会社
- ユー エス ヤチヨ インコーポレーテッド (米国)
自動車部品の製造及び販売
- ヤチヨ マニュファクチュアリング オブ アラバマ エル エル シー (米国)
自動車部品の製造及び販売

- ヤチヨ インダストリー (ユーケー) リミテッド (英国)
持株会社
- サイアム ヤチヨ カンパニー リミテッド (タイ)
自動車部品の製造及び販売
- サイアム ゴウシ マニュファクチュアリング カンパニー リミテッド (タイ)
自動車部品の製造及び販売
- ゴウシ タンロン オートパーツ カンパニー リミテッド (ベトナム)
自動車部品の製造及び販売
- 八千代工業(中山)有限公司 (中国)
自動車部品の製造及び販売

【関連会社】

- エー ワイ マニュファクチュアリング リミテッド (米国)
自動車部品の製造及び販売
- ユー ワイ ティー リミテッド (英国)
自動車部品の製造及び販売

■ ネットワーク



■ 主要製品

- 軽自動車 …ライフ、アクティ、バモス
- 機能部品 …燃料タンク、サンルーフ、マフラー
- 板金部品 (ボディ骨格部品)
- 樹脂部品 …インパネ、バンパー、スポイラー
- 補修部品 …ボンネットフード、ドア、フェンダー

事業報告書のアンケートにたくさんのご回答をありがとうございました。
皆様から頂いたご意見を誠実に受け止め、できる限り経営に反映させていきたいと考えております。
これからも、より多くの貴重なご意見をお待ちしております。

ホームページをご覧ください。

ホームページに株主、投資家の皆様に向けたIR情報(決算情報等)を掲載しています。
また製品情報や八千代の技術紹介“FOCUS”を見やすく整理しました。



<http://www.yachiyo-ind.co.jp>

株主の皆様へアンケートのお願い

お手数ですが、下記アンケートにご回答願います。(該当事項の□にチェックをお付け下さい)このアンケートに対するご回答の内容は、当社のIR活動の参考とさせていただきます。このアンケートは、他の目的に利用するものではありません。

- 1 当社をどこでお知りになりましたか。
証券会社 新聞・雑誌記事 ホームページ
知人のご紹介 その他 ()
- 2 今回の事業報告書でご興味を持たれた内容をお選びください。(複数回答可)
株主の皆様へ YACHIYOの製品 連結業績の概況
連結財務諸表 単独財務諸表 トピックス
インフォメーション
- 3 今後、取り上げて欲しい情報はどのような内容についてですか。(複数回答可)
経営方針 今後の事業計画 業界の動向
業績・経営内容 新製品や新技術に関する情報
- 4 今後の当社株式についてはどのような方針をお持ちですか。
売却 長期保有 買い増し 未定
- 5 当社の株式を長期保有していただくためには何が重要とお考えですか。(複数回答可)
業績の向上 配当金の増加 株主優待
確かな経営ビジョン 財務の健全性 新製品の開発
情報開示 その他 ()
- 6 当社または本誌へのご意見・ご感想がありましたらお願いいたします。